

令和6年度新規就農者数について

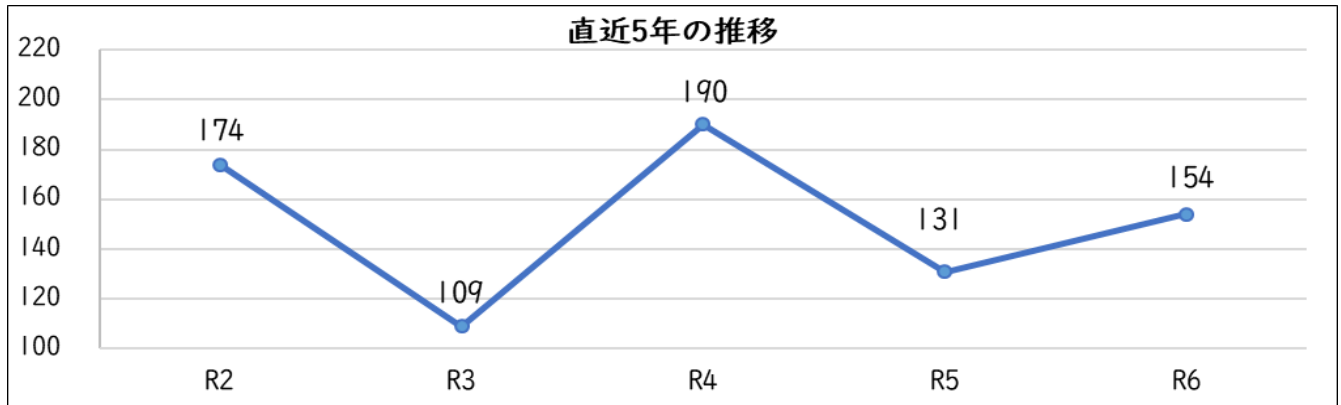
令和7年8月21日
宮城県農政部農業振興課

1 調査対象

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの期間に、新たに就農した15歳以上65歳未満の者

2 調査結果

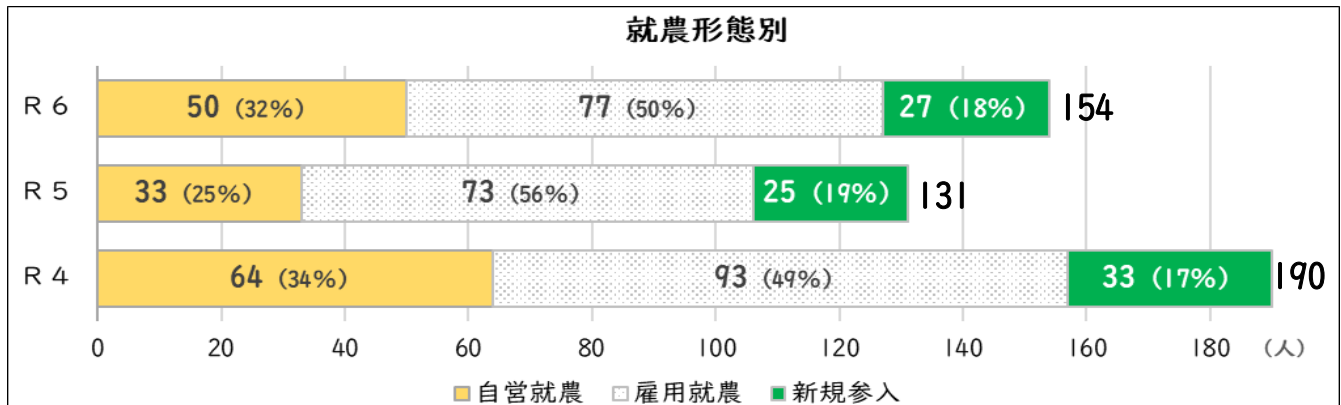
(1) 令和6年度新規就農者数 154人



(2) 内訳

① 就農形態別

前年差は、自営就農は+17人、雇用就農及び新規参入は微増となっている。
構成割合は、雇用就農が半数を占め、次いで自営就農、新規参入となっている。



自営就農：農家出身で、自営農業に従事した者

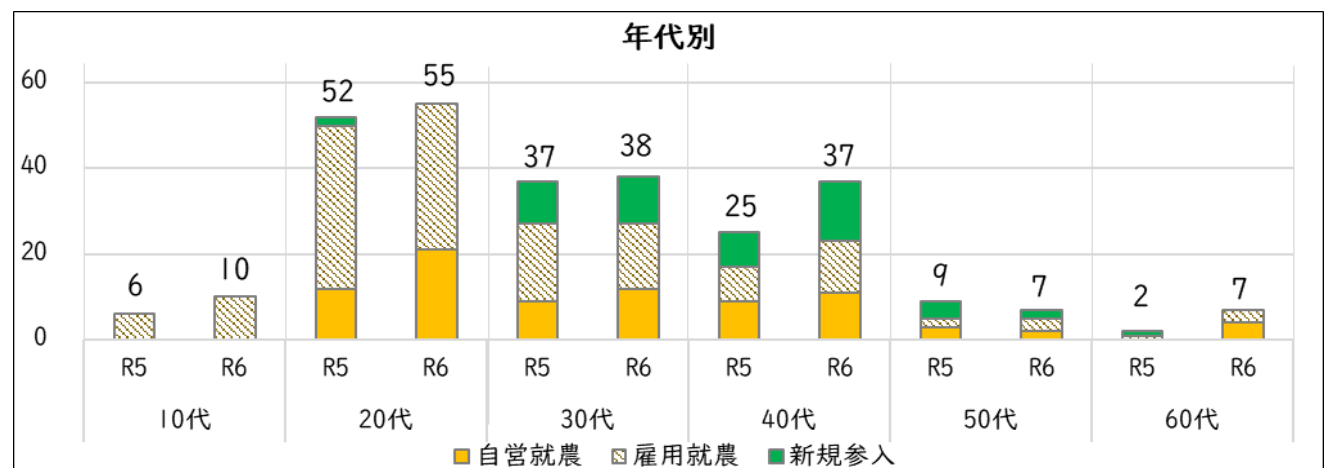
雇用就農：農業法人等で雇用されて就農した者（パート等の非正規雇用は除く）

新規参入：土地や資金を独自に調達し、新たに農業経営を開始した者

② 年代別

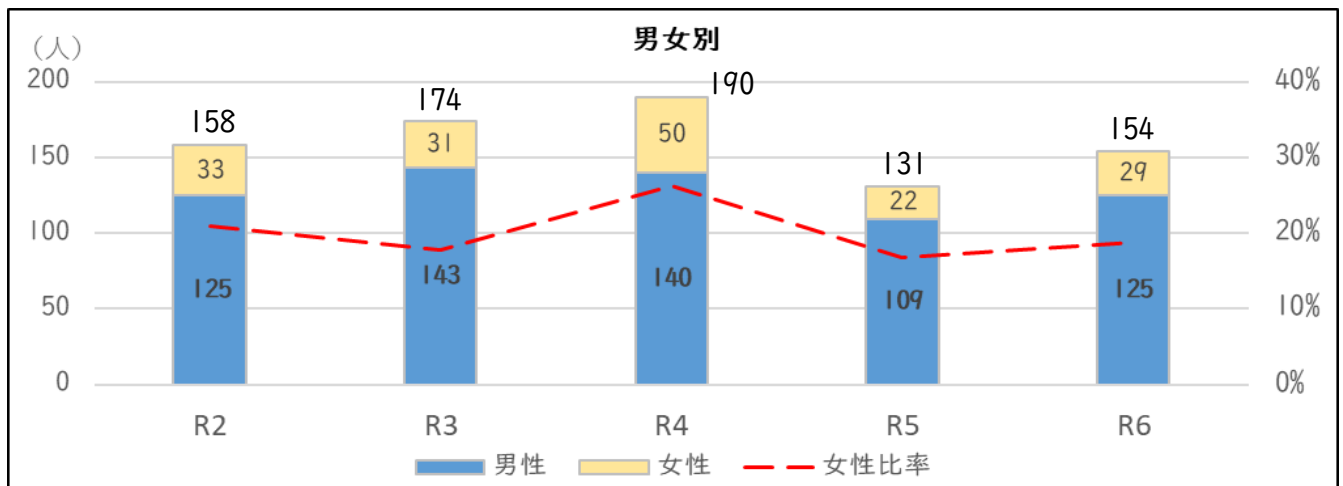
20代が最も多い。増加幅は40代が+12人と最も大きく、全ての就農形態で増加した。

10代、20代、30代、60代が若干増加。20代の自営就農は9人増加し、前年比1.8倍となった。



③ 男女別

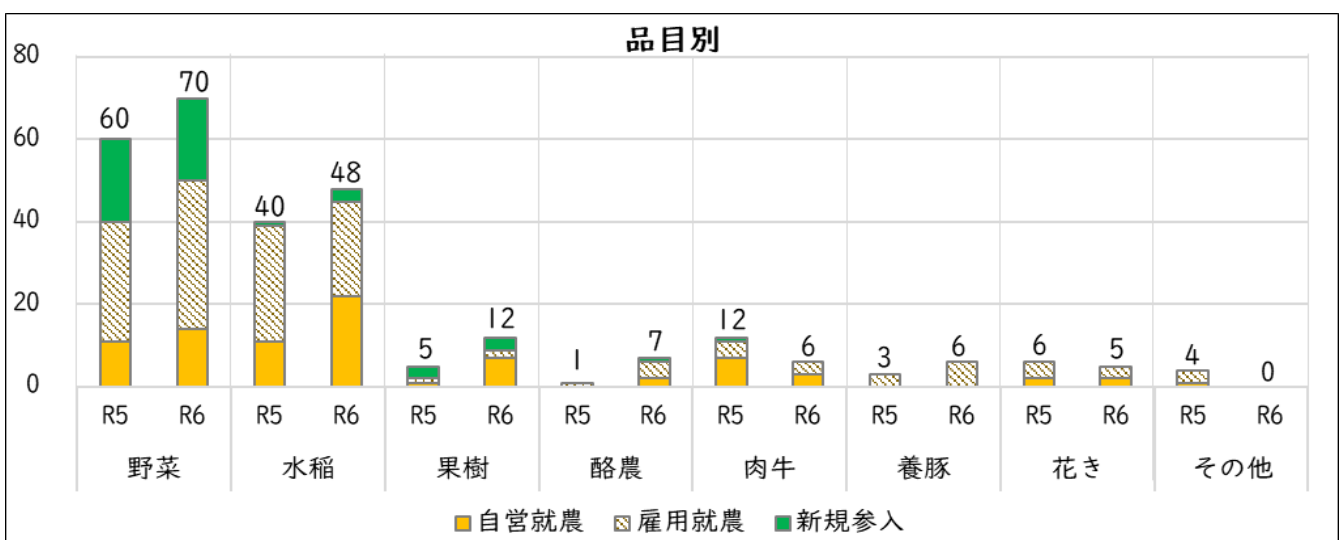
女性が7人増加し、女性比率は17%から19%に増加した。



④ 品目別

増加幅は野菜が+10人と最も多く、次いで水稻が+8人、果樹が+7人となっている。

水稻及び果樹は自営就農の増加が大きく、水稻は11人から22人に、果樹は1人から7人に増加した。



⑤ 地域別

栗原で+8人、大河原で+6人など、7地域で増加。構成比は年次変動が大きい。

